

Green Library

湖南中図書館便り



1階の廊下に掲示されている「第2回 お弁当の日」の写真を見させてもらいました。食材の彩りや、盛り付け方など、工夫しながら前向きに取り組まれた写真を見て、それぞれに「いいね」ボタンを心の中で押しましたよ。さて、図書館では図書委員会の特別活動を行っています。ぜひ図書館に足を運んでみてくださいね。



図書委員会企画 <おすすめの1冊紹介> 開催中です!



図書委員会の特別活動として「おすすめの1冊紹介」を行っています。

各クラスの図書委員さんが、みなさんに読んでもらいたいと思う、おすすめの1冊を選んでくれました♪

提出してもらった紹介文は、図書館入口のホワイトボードに掲示しています。紹介文を読むと、本のあらすじだけでなく、どうしてその本が好きなのか（おすすめしたいのか）しっかりと自分の言葉で書かれています。紹介した人の思いがまっすぐ伝わってきます。

図書館内でも、実際の図書と一緒に展示しています。気になった本は借りて読んでみてください。多くの人に読んでもらえるとうれしいです。



図書館からの おねがい



夏休み前に借りた本を返していない方全員に、お便りを配布しています。しかし、まだ返ってこない本もたくさんあるため、図書館は次の利用者の方に貸し出すことが出来ず困っています。たくさん借りていて一度に持って来られない場合は、少しずつでもいいので返しに来てください。



朝読書に
こんな本は
いかがですか？

文章を書くことは好きですか？好きでなくても、苦手でも、人は「書く」という行為から逃げてばかりはいられません。「書く」ことに少しでも前向きになってもらえるような本を用意してみました。

『さみしい夜にはペンを持て』 古賀史健／著 なるの／イラスト ポプラ社

「日記を書く」ことで、「自分との人間関係」を築くことを勧めている本です。

「書くことを通じて自分と対話を重ね、知らなかった自分を発見し、自分を好きになってほしい」この本に著者が込めた願いです。SNSで絶えず誰かとつながっている日々の中で、「ひとりで考える」ことの大切さを教えてください。

『推しの素晴らしさを語りたいのに、「やばい！」しかでてこない』 三宅香帆／著 ディスカヴァー21

好きなもの（推し）について、語りたい！発信したい！そう思っても平凡な言葉しかでてこない。そんなお悩みにお答えするのがこの本。必要なのは「自分の言葉」をつくること。そのコツを教えてください。榎田もみなさんにおすすめしたい本を紹介する技量をあげるため、読書中です（笑）

『JK、インドで常識ぶっ壊される』 熊谷はるか／著 河出書房新社

中高一貫の学校に通っていた著者は、中学3年生の2学期から3年間、父親の転勤によりインドで暮らします。「高校生としてインドで見たもの感じたことを、高校生のうちに書いておきたい」—そんな思いから、高校3年のときにこの本を書いたそうです。みなさんさんと同世代の目線で書かれた本なので親しみを感じながら読めると思いますよ。

<文部科学省>主催「子供の読書キャンペーン～きみに贈りたい1冊」について

お知らせです。

文部科学省では、子供の読書活動を推進するため、「子供の学び応援サイト」に特設ページ「子供の読書キャンペーン～きみに贈りたい1冊～」を設けました。この特設ページでは、著名人による子供たちへのおすすめの本とメッセージが紹介されています。



下記のURL、もしくはこちらのQRコードから閲覧できます。

<特設ページ> https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/campaign_2023.html

現在は、俳優の上白石萌音さんや、スピードスケートのオリンピックメダリスト・高木美帆さんなど8名の方のおすすめの1冊とメッセージが公開されています。今後さらに更新される予定だそうです。